

# 大阪国際空港 (ITAMI) がリニューアル 4月18日に中央エリアが 先行オープン

**2**020年の全面リニューアルに向けて改修が進む大阪国際(伊丹)空港で、4月18日に中央および屋上エリアが先行オープンする。これまで航空会社ごとに1階南北に二分されていた到着口は、2階中央に集約。また、到着口からペDESTリアンデッキを通過してバスやタクシー、モノレールなどの乗り場にダイレクトに接続でき、利便性が向上する。

中央エリアでは、商業施設が全面リニ

ューアルし、空港初・関西初出店などの30店舗が出店する。3階には、空港としては世界初となる、ワイン醸造所を併設するワインバル「大阪エアポートワイナリー」が誕生。ワインタンクや醸造風景を眺めながら、店内でワインや料理を愉しむことができる。屋上エリアでは、展望デッキの面積が従来の1.5倍に拡大。航空機を眺めながら食事できるカフェ「NORTHSHORE」や子ども向け施設「ボーネルンド あそびのせかい」も初出店する。



世界初、空港内のワイン醸造所。空港を経由地ではなく、目的地になる新たな楽しみ方のひとつとして誘致したという。



屋上エリアの展望デッキのイメージ。

**便利で快適**  
ワクワクいっぱいのスポットに

**グ**ランドオープン時には、保安検査後のエリアにもウォークスルー型の商業施設を設置予定。担当者は「完成すれば、早めに搭乗手続きを

終えた後は、搭乗時間まで食事や買い物ゆっくりお楽しみいただくことができ、空港での時間の使い方が変わる」と話す。搭乗前や到着後はもちろん、航空機の利用時以外でも家族や友達と出かけて食事や買い物を楽しめる空港に生まれ変わり、観光スポットとしても注目が集まりそうだ。

## 健都リレーマラソン 4月8日開催

**近**年、公道を走る市民マラソンの人気が高い。吹田市では昨年、市民ランナー、陸上競技協会、医師や会社員等の有志などが集まって吹田マラソン実行委員会を設立。大阪万博50周年・吹田市制80周年の2020年に吹田市民マラソン大会(仮称)の開催実施を目指している。そのプレイベントとして、4月8日に健都レールサイド公園において「健都リレーマラソン@吹田」を実施する。

吹田市はかねてより、「健康づくり都市宣言」を掲げ、健都の開発とともに健康医療先進都市として健康増進や予防医学、生涯スポーツの分野に重点的に取り組んでいる。同委員会は、公道を走ることで、市



開設したばかりの健都レールサイド公園で行われる。

民の健康増進に加え、多くの人に市の魅力を広く発信することができ、シティプロモーションとしての好機になるとしている。

今回健都で行うマラソンは、リレーマラソンとファミリーファンランの2種目。当日は桜の花のもと、飲食ブースも出展しピクニック気分も楽しめる。応募方法など詳しくは、吹田マラソン実行委員会ホームページにて。

## 豊中市の中学校で キャリア教育 プログラムを実施

**近**年、学校教育の中で取り入れられつつあるのが「キャリア教育」。企業と学校が連携し、児童や生徒の課題解決力の向上を目指す取り組みだ。

豊中市立第八中学校では、平成30年1月から「地球環境とキャリア」をテーマに全5回のキャリア教育プログラムを実施している。同プログラムは、キャリア教育をコーディネートするNPO法人JAE(大阪市)が豊中市教育委員会に企画提案し、同校での実施が決まった。

これまでの学習で生徒らは、市環境政策課と再生可能エネルギーの普及事業



学校での事前学習の様子。

を行う株式会社エコスタイル(大阪府)から、地球温暖化問題と再生可能エネルギーについての解説を聞き、市内のスーパーに出向いて店員や客にエコバッグなどの利用状況などを聞き取り調査した。今後は地球環境の改善対策案を検討し、市やエコスタイルの関係者らに提案する。この提案内容は、市のホームページに掲載される予定。市の担当者は「生徒たちの豊かな発想に期待している。積極的に提案を受け入れて地球環境の改善につなげたい」と意欲を見せている。

## 府営住宅跡と一体開発 千里ニュータウンの近隣センター

**千**里ニュータウンの豊中市側で、小規模商業施設「新千里東町近隣センター」の建て替え工事が始まる。これまで近隣住民の買い物の場として役割を果たしてきたが、開設から約50年が経過して老朽化や店舗の閉鎖が進み、住民が日常生活を送るうえで利便性の低下が問題になっていたためだ。



現状の新千里東町近隣センターの様子。

再開発区域は約1.7ha、近隣センターと隣接する府営住宅跡の活用と一体で行われ、主に店舗のほか、住宅や地区会館などの公益施設が建設される。開発工事は段階的に進められ、東地区の商業施設が2020年夏頃に、施設全体は2023年夏頃に完成する予定。

## 川端康成が学んだまち 茨木市が文学賞を創設

**今**年市制施行70周年を迎える茨木市が、記念事業として「川端康成青春文学賞」を創設した。昭和43年に日本人で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成は、幼少期から青年期までを茨木市で過ごし、この地で作家を志したという。選考委員には芥川賞作家の羽田圭介氏や津村

同賞のキャッチコピーは「小説の傑作が出来るをうたがわない」。旧制茨木中学校(現在の茨木高校)在学中に記した日記の一文から引用された言葉だ。



記久子氏、脚本家の大野裕之氏を迎え、全国から青春を描いた小説を募集する。6月末まで受け付け、12月に大賞などを発表する予定。詳細は茨木市HPにて。

## 2/1(木)から3/18(日)はサイバーセキュリティ月間 「SNSを安全に使おう」

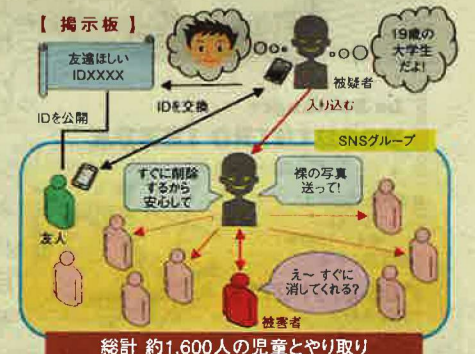
協力:大阪府警察

### 【具体例】19歳イケメンモデルになりましたSNSを使った犯行

- 【犯行手口】
- 19歳のイケメンモデルになりました被疑者が、ネット掲示板を通じて女子中学生と知り合う(お互いにSNSのIDを交換)
  - 女子中学生のSNSグループに招待してもらう
  - 甘言や脅迫により、女子中学生等から裸の画像を送信させる
  - グループ内のほかの女子中学生等からも裸の画像を送信させる(これを繰り返す)

【被害実態】約130人の小・中学生が自分の裸の写真を送信させられる

【検挙】46歳の被疑者を児童買春・児童ポルノ禁止法違反により検挙



友達の友達は「知っている人」ではない。あなたを狙う犯罪者かもしれないので注意しよう!